

神経研究の進歩 第40巻 総目次

1996年(第1号～第6号)

数字は通巻頁数, () は号数

[特集: Motor Neuron Disease]

ユビキチン化封入体	水澤 英洋	5(1)
Bunina body	岡本 幸市	16(1)
筋萎縮性側索硬化症におけるシ ナプスの変化	佐々木彰一	25(1)
筋萎縮性側索硬化症と栄養因子	高橋 良輔	33(1)
運動ニューロン特異的タイロシ ンカイネースレセプター	中村 政明・太田 訓正・田中 英明	43(1)
筋萎縮性側索硬化症の脳の MRI	柳下 章・中野 今治・小田 雅也	53(1)
ALS と痴呆	中野 今治	63(1)
Fasciculation の起源と筋電図 上の問題点	園生 雅弘	75(1)
家族性筋萎縮性側索硬化症にお ける Cu/Zn SOD 遺伝子変異	中野 亮一・辻 省次	84(1)
集団レベルでみた運動ニューロ ン疾患	近藤喜代太郎	95(1)
筋萎縮性側索硬化症の臨床統計 — 予後因子と生存分析を中心 として —	吉田 宗平	103(1)
筋萎縮性側索硬化症の臨床診断 における問題点 — El Escori- al 基準をめぐる —	荒崎 圭介	115(1)
筋萎縮性側索硬化症の臨床評価 スケール	本多 虔夫	125(1)
筋萎縮性側索硬化症における薬 物治療の現況	三本 博・斉藤 豊和	132(1)

[特集: 神経系細胞のアポトーシス]

序 文	高坂 新一	171(2)
神経系の発生過程におけるプロ グラム細胞死	八木沼洋行	173(2)
脳神経系アポトーシスの形態学 的観察	内山 安男	187(2)

小脳顆粒細胞のアポトーシス	久保 武一・榎戸 靖・畠中 寛	197(2)
グリア細胞のアポトーシス	鎌倉 恵子・福田 潤	206(2)
サイトカインによる細胞死のシ グナル伝達	中村 俊	218(2)
細胞内カルシウムレベルは神経 細胞死をどう制御しているの か?	小池 達郎・田中 秀逸	227(2)
ICE/CED-3 によるアポトーシ スの制御	三浦 正幸	236(2)
アポトーシスとレドックス調節	若尾 りか・太田 成男	248(2)
エンドヌクレアーゼと神経細胞 死	岡田 統子・小泉 信一	257(2)
神経細胞のアポトーシスと Bcl- 2 発現	野村 靖幸	263(2)
β -アミロイドによる神経細胞 死	高島 明彦	273(2)
グリオーマにおけるアポトーシ スとその制御	浅井 昭雄	284(2)

[特集: 眼球運動と注意]

水平性サッケードの脳幹神経機 構	吉田 薫	323(3)
垂直性眼球運動のメカニズム	福島 菊郎	337(3)
上丘によるサッケードと注視の 制御	相澤 寛	351(3)
視線制御と頭部の運動の神経機 構	篠田 義一・寛 慎治 杉内友理子・伊澤 佳子	363(3)
眼球運動における小脳の役割	永雄 総一	374(3)
前頭眼野と前頭連合野の機能	船橋新太郎	383(3)
追従眼球運動の神経機構	河野 憲二・竹村 文・井上 由香 北間 敏弘・小林 康	398(3)
頭頂前頭連合野ニューロンの予 測的視覚応答	楠 真琴	409(3)

奥行視覚に伴う眼球運動のメカニズム	板東 武彦	419(3)
課題に応じた視覚性記憶	田中 靖人・下條 信輔	429(3)
視覚的注意, 体性感覚的注意とクロスモーダルアテンション	宮内 哲	445(3)
注意による前頭連合野ニューロンの視覚応答の変化	小高 泰	456(3)
発達と加齢におけるサッケードの変化	福田 秀樹	462(3)
大脳基底核疾患の眼球運動	彦坂 興秀	471(3)
エキスプレスサッケードに現れる注意の異常—精神分裂病の追跡眼球運動障害に関連して—	松江 克彦・千葉 英明	485(3)
精神疾患における眼球運動異常	小島 卓也・夏 梅蘭	496(3)
半側空間無視と眼球運動異常	石合 純夫	506(3)

〔特集：脳循環と脳虚血〕

脳循環調節中枢				
…中井 正継・緒方 紬・玉城 欣也 山本 仁・福井 清・松井 征男 前田 正信……………		527(4)		
脳幹における心臓血管運動調節				
ニューロンの分布……………	三浦 光彦…	540(4)		
コリン作動性前脳基底部神経細胞群による脳局所循環調節…			佐藤 昭夫…	554(4)
胎生期の脳血管発生の特殊性と脳循環の発達……………			大井 静雄…	565(4)
脳内微小循環系の発生と神経支配……………			藤本 勝邦…	572(4)
脳循環の診断—近赤外光による脳循環動態の測定—……………			吉本 智信・上野 俊昭…	589(4)
脳虚血・再灌流と細胞応答……………			松本 昌泰…	597(4)
遅発性神経細胞死の分子機構…			桐野 高明…	611(4)
脳虚血と興奮毒性：低脳温による神経細胞死防禦は可能か…			柳瀬 尚人・中村 洋一・片岡 喜由…	622(4)
脳虚血と一酸化窒素……………			田中耕太郎…	635(4)
脳微小循環障害と細胞接着分子……………			岡田 靖…	655(4)
脳虚血と血小板活性化…			内山真一郎・山崎 昌子・岩田 誠…	666(4)

Lacunar仮説の変遷	秋口 一郎	679(4)
皮質下梗塞の多様性	鄭 秀明	688(4)
branch atheromatous disease	宇高不可思・漆谷 真・亀山 正邦	698(4)

〔特集：神経機能の再建〕

人工内耳—最新生理からみた理論と臨床応用の実際—	舩坂宗太郎・川目謹太郎	731(5)
顔面神経の再建	朝戸 裕貴・波利井清紀	742(5)
神経移行術による麻痺肢の機能再建	長野 昭	755(5)
同種末梢神経移植における免疫応答の制御	仲尾 保志・堀内 行雄	763(5)
筋移行による麻痺肢の機能再建	土井 一輝	775(5)
麻痺肢に対する機能的電気刺激法	高橋 博達・伊藤 健司 大槻 泰介・吉本 高志	783(5)
神経機能障害の評価と再建プラン—リハビリテーション医学の立場から—	正門 由久・千野 直一	795(5)
筋電動義手の開発について	吉田 正樹・赤澤 堅造	805(5)
網膜における視機能の再建—網膜色素上皮移植—	玉井 信	813(5)
網膜・視神経の機能再建	大出 尚郎・佐々木 仁・三好 智満 渡部 真三・福田 淳	823(5)
排尿機能の再建	岩坪 暎二	835(5)
脊髄損傷の神経修復	川口 三郎	845(5)
神経栄養因子による機能修復の試み	古川 美子・古川 昭栄	856(5)
中枢神経系幹細胞による神経回路網再建の試み	内田 耕一	865(5)

〔第31回 脳のシンポジウム〕

1. 開会の辞	福内 靖男	895(6)
2. 挨拶	高倉 公朋	896(6)
3. 嗅覚研究の最近の進歩		
1) 嗅覚受容器のトランスダクション	倉橋 隆	897(6)
2) 嗅覚神経系における匂い分子識別機構—嗅糸球と受容体マップ—	森 憲作	905(6)

- 3) 嗅覚の記憶とグルタミン酸受容体……………栴 秀人… 911(6)
- 4) 嗅球の側方抑制とグルタミン酸受容体……………高橋 智幸… 919(6)
4. 神経組織の細胞接着蛋白
 - 1) 神経組織の細胞接着蛋白研究の進歩……………植村 慶一… 924(6)
 - 2) 神経組織のカドヘリン(抄録)……………松波 宏明… 932(6)
 - 3) AxCAM と DenCAM: 神経系細胞接着分子の新たな分類…吉原 良浩・森 憲作… 937(6)
 - 4) 細胞接着因子ギセリンの構造と機能……………平 英一・三木 直正… 945(6)
 - 5) 神経回路形成と脳特異プロテオグリカン……………大平 敦彦… 952(6)
 - 6) シナプス標的認識分子: ファシクリンIII(抄録)……………堀田 凱樹… 961(6)
5. 脳血管—構造と機能
 - 1) 脳血管の三次元微細構築……………秋間 道夫… 965(6)
 - 2) 脳血管の神経支配——組織学的立場から……………中北 和夫・板倉 徹… 972(6)
 - 3) 脳血管の神経支配——機能的立場より(抄録)……………戸田 昇… 983(6)
 - 4) 脳血管内皮と循環調節(抄録)……………室田 誠逸… 985(6)
 - 5) 脳微小循環……………富田 稔… 987(6)
6. 脳研究の方法論—現状と未来—

- 1) 運動と行動の神経機構(抄録)……………丹治 順… 997(6)
- 2) 大脳辺縁系—ヒトと動物における意義……………小野 武年・田淵 英一…1000(6)
- 3) 大脳高次機能へのアプローチ—動物実験から…大島 知一…1008(6)
- 4) 大脳高次機能へのアプローチ—ヒトの研究から……………河村 満…1014(6)
- 5) 神経学研究の方法論……………亀山 正邦…1023(6)
7. 挨拶……………萬年 徹…1033(6)
8. 閉会の辞……………植村 慶一…1034(6)

〔原 著〕

- グリアのタウ陽性、嗜銀性構造物(Glial Fibrillary Tangle)の研究(I)分類と疾患特異性…池田 研二・秋山 治彦・西村 徹
田中 芳郎・松阪 尚・近藤ひろみ
羽賀 千恵・丹野 瑛子…………… 147(1)
- 脳挫傷後に意味記憶障害を呈した一症例
…平林 一・田丸 冬彦・平林 順子
稲木康一郎・市川 英彦…………… 295(2)
- ヒト脳動脈とその神経支配の組織発生……………藤本 勝邦… 707(4)
- アミノ酸交換輸送系を介するグルタミン酸細胞死と活性酸素種
…安井 裕子・本間 啓子・馬渡 一浩
村瀬 真一・加藤 聖…………… 875(5)